実例報告

大阪市立友渕中学校
「絵の本ひろば」の取組について

- 友渕中学校は 大阪市都島区にあります
- 各学年 6～7クラス、全20クラス、生徒約800名の学校です
- 校区内の友渕小学校は児童約1580名・一小一中の学区編成です

■ 絵の本ひろば

2018年からスタート
年に1度 約２週間 期間限定の取組
期間中 国語の授業に導入
対象は全校生徒
本を「読む」のではなく
「楽しむ」空間



生徒のそばに
本のある場所を作る



■ 青空図書

2021年からスタート
学期ごとに１～２回 開催
正門前のピロティにミニ図書室を開設
図書室に立ち寄らない生徒や
立ち寄れない生徒も気軽に利用できる
貸出・返却・立ち読みもOK

■ 青空図書　正門前に移動図書室！

生徒たちのいる場所に図書室を持っていったらどうやろか？

- 図書室からピックアップした300～400冊の本を正門前のピロティに移動
- 下校時間に合わせて展示
- 貸出・返却・立ち読みも自由
- 選書は図書委員会の生徒たち・司書さん・図書ボランティア・元気アップ
- 設営・運営・撤収は図書ボランティアと元気アップ
- 学期に1～2回定期開催







青空図書実績（令和4年度～令和8年度7月まで）

年度（開催日数）	来場者数／名	貸出数／冊
R４（８日）	274	191
R５（７日）	217	110
R６（３日）	129	72
R７（５日）	336	102
R８（２日）	199	54

ここで初めて本を借りる生徒がいる
「立ち読みだけなら」の気軽さで 図書室では見かけない生徒の姿もある
友達同士でわいわいがやがやと いろんな本を手に取っている
ボランティアさんに おすすめを聞いてくる生徒もいる
ボランティアさんと 生徒が一緒に本を覗き込む姿もある
先生も借りに来られて 生徒におすすめをしてくださる場面もある
懇談時期には保護者も一緒に立ち寄ってくれる

■ 絵の本ひろば

絵の本ひろば用に選書された
ジャンル・年齢問わずの本を400冊
文字数の多い本は置きません
絵や写真を読む だから『絵の本』
絵の本として選書された
絵本・写真集・料理本等と面展台で
リラックスできる空間づくり



経緯

2018	絵の本ひろばスタート PTA×学校×図書委員会の取組 昼休み・放課後 図書室にて開催
2019	学校×図書委員会×元気アップ×図書ボランティアの 取組として継続
2020	コロナ禍で中止
2021～2022	再開 昼休み放課後開放に加え 国語の授業に導入（1～2年生）
2023～現在	3年生の授業導入を開始（全学年授業導入） 休日を利用した地域への一般開放を開始

それぞれのペースで　自由に選び 自由に読む

読書推進ではなく　本を間にした場づくり 本との出会い直し

国語の取組として授業に導入

1～3年生全クラスが国語の時間に絵の本ひろばにやってきます
昼休み放課後の開放もしています






支援学級・ほっとスペース

クラス利用のない時間で
自由にひろばを利用
少人数での利用はゆったり



設営・撤収は 図書委員会さんと一緒に！

各クラスへの案内・図書だより・校内ポスター作成
集会でのお知らせなどもお任せしています





地域開放 day

期間中の休日に 出入り自由な 地域開放dayを開催
生徒・保護者・近隣小学校・保育所・地域掲示板・地域の各団体 に案内
毎回100名以上の来場あり　生徒ボランティアも募集し活動



